

■丸山鉄雄 NHKのプロデューサー。大組織のサラリーマンとして、大衆と向かい合う表現を模索、娯楽番組の原型を作った。

まるやまてつお
韓国併合・・・1910＝

大阪で、前年、{京城日報}から、すでに全国トップの部数を争うようになっていた{大阪朝日}に移籍し、「天声人語」欄などを担当する記者_丸山幹治の長男に生まれる。正式には鐵雄。直後、父の郷里長野県清野村で、祖父鐵次郎が恐喝事件で逮捕され、父は即帰省、事件の解決に当たり、執行猶予付きの実刑判決、

大逆事件判決1911＝ 1歳
明治天皇没 1912＝ 2歳
第一次大戦始1914＝ 4歳
21ヶ条要求 1915＝ 5歳
民本主義・・・1916＝ 6歳
ロシア革命 1917＝ 7歳
本格政党内閣1918＝ 8歳
ベルサイユ条約 1919＝ 9歳
大暴落・・・1920＝10歳
原敬首相暗殺1921＝11歳
水平社結成 1922＝12歳

弟真男が誕生、父がアメリカ出張になり、東京四谷の私立愛住幼稚園に通う。_母セイが熱烈な教育ママだったことから、父の帰国で、関西に戻り、兵庫県御影尋常小学校に入学、成績は抜群で、次弟矩男が誕生。白虹事件で、父が、同志とともに{大阪朝日}を退社して上京したため、淀橋第三尋常小学校に転校、父が、鳥居素川の創刊した{大正日日新聞}に招かれて、関西に戻り、兵庫県の精道尋常小学校に転校、三弟邦男が誕生。祖父鐵次郎が死去。{大正日日新聞}は解散となり、父は浪人。父が{読売}に迎えられて、再上京、四谷第一尋常小学校に転校、_学業操行優等で表彰され続け、_褒美を授与されて、卒業。新設された初の私立七年制で、受験生が集中した武蔵高等学校尋常科にも合格(同期に飯沢匡)するが、転校続きの不安定な生活に反発して、安定した仕事を思い描く一方、祖父の任侠的体質を受け継いでか、スパルタ教育にも反発、授業をサボって、立川文庫や{新青年}を読みふけり、_落第して留年、学校から、母が呼び出しを受ける事態にもなり、_前年に新設された私立七年制の成城学園に、編入試験を受けて転校、_高等科に進み、生徒が自主的に文化活動にも取り組むような自由な校風になじんで、

関東大震災 1923＝13歳
治安維持法 1925＝15歳
金融恐慌・・・1927＝17歳
共産党事件 1928＝18歳
海軍軍縮条約1930＝20歳

_無事に卒業。無試験で済んだ京都帝国大学経済学部に入學し、寮生活。早くも、寮の記念祭の余興のおどりの構成・演出を受け持ち、祇園の舞妓から振り付けを教わるなど、学生生活を謳歌するが、肺結核が悪化して、寮を退出、1年休学して、自宅療養。

満州事変・・・1931＝21歳
五一五事件 1932＝22歳

この年、JOAK東京中央放送局が、のちの「のど自慢」のルーツになる「演芸放送出演者募集」を実施。_大学・寮に復帰、なお病に苦しめられるも、寮生活を楽しみ、川柳創作を始め、句会や結社に参加。

国際連盟脱退1933＝23歳

_滝川事件が起き、学生も決起するが、冷静に眺めていて、運動敗北後、軍歌「戦友」の替え歌「大学の歌」をつくると、{大阪朝日}京都版に掲載され流行、替え歌づくりはライフワークになって行く。

帝人疑獄事件1934＝24歳

_卒業。就職地獄のなか、ようやく、大阪の区役所税務係の臨時職員にも耐えられず、新聞記者や作家、編集者あがりが大半の日本放送協会(NHK)に、紹介による半ば形式的な採用試験を受けて、就職、新設もない放送編成会に配属され、娯楽番組の助手になる。直後に急性肺炎となるも、無事復帰。究極の安定した御用メディアのサラリーマンになった。早くも、この年の「演芸放送出演者募集」のテスト現場を見学、日蘇通信社刊行の{蘇聯邦要覽}に、「ソ連の放送事業」を寄稿し、ソ連が芸術の民衆化に貢献しているというなど、_大組織で、大衆に向かい合う表現を模索、

日中戦争始 1937＝27歳

_1年後輩の宮原誠一の縁で、村山知義の新協劇団の機関誌の川柳コーナーを受け持つことになり、続いて、コント風の「劇団漫才」も担当、得意の替え歌はじめ、コミカルな諷刺は、後述する「日曜娯楽版」の先駆となる。NHKが特番「漢口陥落祝賀の夕」を汲むなか、演劇雑誌{テアトロ}に時局をこきおろすドラマ評を寄稿、NHKの広報誌{放送}に設けられた「番組編成」のページを担当し、本職でも独自の抵抗を試みる。宮原から、「新劇界の長老」佐々木孝丸を紹介されて、{築地小劇場}の第一回公演で、新劇の演出、

健保+総動員 1938＝28歳

第二回公演でも演出するも、{築地小劇場}が警察に目を付けられて、終わるが、貴重な体験になった。新協劇団の川柳コーナーが目にとまって、{都新聞}演芸欄に取り立てられ、初めて原稿料を受け取り、以後、常連になって、時局に対する不満を綴る。内閣情報部の圧力で、NHKに、時局放送企画協議会が新設され、番組が一層緊張を強いるものになると、{放送}担当欄で、川柳を添えるなどして和らげ、「大衆演芸と放送」なる論文を寄稿、大衆の声を主張して、一石を投じ、のちの番組づくりの基礎になる。

第二次大戦始1939＝29歳

_新しい娯楽番組が相次いで始まり、それらを制作する業務局文芸部演芸課に異動、得意の機会を得、「演芸放送出演者募集」の審査員も務めるようになる。誰にも分かりやすく面白いことをめざして、結婚。総合番組の嚆矢とされる「演芸お好み袋」、演芸市を企画・制作。芸人を引き連れ、満州の皇軍慰問に出張。統合・創刊された{レコード文化}の歌謡曲新譜月評を始めると、大衆の熱情に対応するように、戦争協力的で、敵性音楽を排撃するようなものになり、資本主義による商品の映画主題歌が歌謡曲を害するものとみなし、事件に対応して迅速に創られる「ニュース歌謡」に可能性を見出す。

大政翼賛会 1940＝30歳

聴取者から大きな反響のあった「演芸お好み袋」は、新たな出演者を得て、再放送。企画部に異動すると、{音楽文化}や{音楽知識}への寄稿も、音楽から離れて、敵愾心一色に変わり、「歌謡曲と邦楽が演芸部から移管された音楽部に異動し、副部長に昇進。ユダヤ陰謀論を唱えるに至る。敗戦・・・1945＝35歳

日米開戦・・・1941＝31歳

東京大空襲の際、放送会館に宿直していて、猛火に悪戦苦闘。終戦の日に、母が死去。戦前、「演芸放送出演者募集」で見出したタレントを出演させた「新人の時間」を復活させるべく、吉田信音楽部長に提案、

・・・1942＝32歳

滝川事件を扱った黒沢明監督の「わが青春に悔なし」に、「戦友」の替え歌が二度登場。_戦前のことについて、自己弁護するも、あくまで戦争に反対した人たちに憧憬の念も持つようになり、GHQによる半植民地の日本社会を批判し、自嘲。反抗的性格は変わらず、副部長という管理職にありながら、9名の部課長のリーダーとして、組合と連帯、国家管理に反対するストライキを起こして、「NHKの大奇人」といわれた。その間、音楽部のプロデューサー三枝健剛が番組名を提案した「のど自慢素人音楽会」の放送が始まり、指導性と大衆性を併せ持つ自ら理想とする形式にし、そのまま現在なお放送されているお化け番組になったのである。

創価学会検挙1943＝33歳

*放送ストが収まって、演出部に配属され、音楽演芸番組のプロデューサーになるや、前年、三木鶏郎の売り込みに音楽部が反応して起用し、自ら発案した名称「歌の新聞」を、定時番組{日曜娯楽版}に格上げして幅を広げ、「歌の新聞」は、番組中の「冗談音楽」にする。

年金+総武装 1944＝34歳

{放送}の座談会で、「衣食住が満ち足りれば、娯楽的存在価値はなくなる」と、時代の変化も自覚、

敗戦・・・1945＝35歳

たまたま「わが青春に悔なし」を見て、自らの歌がでてきたため、驚いている。_「日曜娯楽版」が、聴取率一位になるなど、GHQの検閲もくぐりぬけて、痛快な社会諷刺で一世を風靡、同番組を、有名無名の才能に広く公開して多くのタレントが登場、戦後放送史のトップを飾るに至る。この間、最初の「のど自慢」に出演(スト中で立ち会っていない)、鐘は鳴らずに終わるも一世を風靡するに至った美空ひばりを忌み嫌い、

新憲法公布 1946＝36歳

{毎日情報}に、_常軌を逸した批判「美空ひばり論」を寄稿、自らが思い描いていた大衆性の限界を露呈、

新憲法施行 1947＝37歳

諷刺を嫌う政治家らへの配慮からか、{日曜娯楽版}は終了となり、{ユーモア劇場}に変わる。

三大事件・・・1949＝39歳

*テレビ放送部門に異動になり、「ジェスチャー」を担当したり、「ヴァラエティ明治・大正・昭和」を企画したりするが、テレビでは、ラジオのような辛辣な番組が放送できないのも明らかで、

朝鮮戦争始 1950＝40歳

{ユーモア劇場}も、政府の圧力が取りざたされるなか、終了してしまう。_自らの時代は終わった。

独立回復・・・1951＝41歳

{朝日}に、替え歌「ロッキード事件の歌」を投稿。{文藝春秋}臨時増刊号で、半植民地的環境で、「タマラン節」「東京ブギ」など、植民地歌謡が流行したと指摘、

メデー事件 1952＝42歳

音楽部長、

テレビ放送始 1953＝43歳

肺結核による左肺手術のため、長期入院。

自衛隊発足 1954＝44歳

*{日本コロムビア}取締役制作本部長に招かれ、NHKを退職。歌と記録音源、NHK宮田輝アナウンサーによる「歌と音のドキュメント 激動の昭和」を企画制作、

55年体制始 1955＝45歳

戦後編が発売され、

美智子妃・・・1959＝49歳

戦前戦中編が発売され、_第15回日本レコード大賞特別賞を受賞。

安保闘争・・・1960＝50歳

*{朝日}朝刊投稿欄に、ロッキード事件を批判する替え歌が掲載され、翌週「ひと」欄に、作者として、略伝が紹介される。子会社の{コロムビア音楽芸能}社長を最後に、退職し、

伊伊病始 1961＝51歳

没した。

東京リビウ 1964＝54歳

親分肌で、弟たちに甚大な影響を与え、真男は、戦後を代表する政治思想家になり、邦男も評論家として活躍、丸山三兄弟と呼ばれるほどの存在になって行く。

リカト事件 1988＝78歳

尾原宏之「娯楽番組を創った男」、

尾原宏之「娯楽番組を創った男」、